

株主の皆様へ

第63期 第2四半期株主通信

2023年4月1日～2023年9月30日



TAKAMAZはパラリンアートを応援しています

作品名 「冬」 KOTOさん/作

 Paralym Art®

パラリンアートとは
障がい者アーティストの経済的な自立を目的とし、
彼らのビジネス支援を行う活動です。

TAKAMAZ
高松機械工業株式会社

証券コード：6155

目標に向かって前向きにチャレンジを続け、
お客様のニーズに合わせたソリューション提案の推進や新規事業への挑戦など、
未来を切り開く取り組みを進めていきます。

代表取締役社長 高松宗一郎

Q 当第2四半期の振り返りをお願いします。

日本国内では、社会経済活動の正常化に向けた動きが強まり、各種政策も実施された一方で、世界ではインフレの長期化で金利高にあり、中国経済も低迷を強めるなど、依然として不透明な状況にありました。

工作機械業界でも、内需、外需ともに前年同月比割れが継続するなど調整局面にあり、盛り上がり欠けたまま推移した結果、当第2四半期における業界受注総額は前年同期比17.7%減の7,372億円にとどまっています。

当社グループでは、主要顧客である国内自動車業界向けの工作機械需要が、自動車生産の回復やEV関連の設備投資などによって徐々に改善に転じると想定していましたが、一部顧客や地域にて需要の回復が見られたものの、全体として期待する水準まで需要が戻らず、業績見通しを引き下げる結果となりました。

Q 当第2四半期の業績結果と取り組みについて教えてください。

当第2四半期の業績は、受注高が74億28百万円(前年同期比16.4%減)、受注残高が67億34百万円(同16.2%減)となり、売上高が70億13百万円(同6.2%減)、営業損失が1億53百万円(前年同期は1億39百万円の営業利益)、経常損失が1億53百万円

(前年同期は2億27百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失が1億33百万円(前年同期は1億44百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。第2四半期にて営業利益が赤字となったのは、リーマンショックによる影響を受けた第50期(2011年3月期)以来になります。

当社グループは、「中期計画2024」の2年目として、様々なチェンジ・チャレンジを進めてきました。その一つとして今年4月に実施した工作機械事業本部の再編では、営業部門と生産部門が同じ目線に立って全体最適の意思決定ができ、顧客に対する柔軟かつタイムリーな対応や情報共有によるコスト削減などを実現してきました。

また、自動車業界向け需要の回復遅れから当社を取り巻く環境は厳しい状況にありましたので、工作機械事業本部が中心となって、今期の売上・利益改善に向けた受注・生産対策に取り組んできました。原材料価格の高騰に対応した販売価格の改定、生産対応のための機動的な配置転換、アウトソーシングの活用拡大などを実施しています。

研究開発では、機能や使い勝手の向上はもちろん、環境面に配慮し、CO₂排出量の削減に繋がる技術・機能を備えた新製品の開発を進めてきました。新製品「XWT-8」につきましては、7ページにて紹介していますので、ご覧ください。

中期的な企業成長をはかっていくための施策にも取り組み、新規事業へのチャレンジとして、当社の技術力をもってリサイ



クル業界の人手不足問題を解決する「資源ゴミAI自動選別機」の開発・製品化を進めています。各種展示会にて試作機の積極的なPRを行い、多くの引合をいただくまでに至りました。

Q 先行きの見通しと今後の取り組みについて、お聞かせください。

工作機械業界では、人手不足に対応するための自動化ニーズ、高まる環境問題への対応などから、設備投資に対するユーザの潜在意欲は高く、今後の需要回復が期待されています。

その需要を獲得し、売上・利益の確保を行っていくため、生販一体化した工作機械事業本部のメリットを最大限に活用した活動を推進します。上期の活動に引き続き、設計を担う技術部員の同行

訪問、情報共有の強化および生産対応を実施します。また、回復が遅れている国内自動車業界に対しても、投資意欲のあるユーザをターゲットとして、ニーズを捉えた機動的な営業活動を推進してまいります。

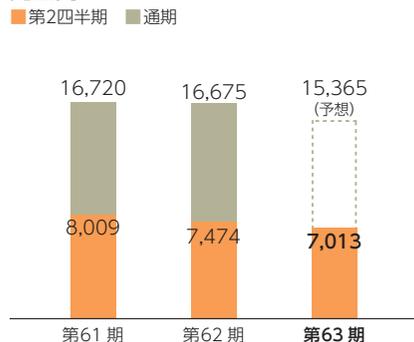
更にはサステナビリティの実現に向けまして、カーボンニュートラルに対応した製品提案の推進や再生可能エネルギー利用の拡大、地域社会への貢献など、事業活動を通じて積極的に取り組んでいきます。

当社グループの今期業績は厳しい見通しにありますが、工作機械業界は中長期的視点で更なる市場拡大が見込まれていますので、将来的な企業価値向上のため、全社一丸となって「チェンジ」「チャレンジ」していきます。

連結業績ハイライト

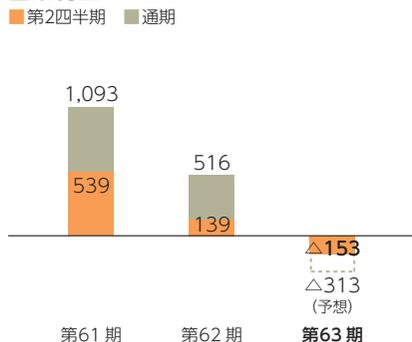
売上高

(単位:百万円)



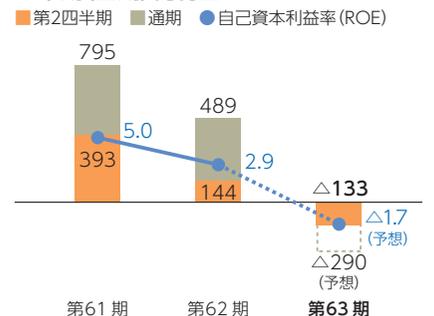
営業利益

(単位:百万円)



**親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益**

(単位:百万円、%)



第62期第2四半期 売上高構成比

工作機械事業 88.9%

IT関連製造装置事業

8.9%

2.1%

自動車部品加工事業

工作機械事業

売上高 **6,237**百万円
(前年同期比 6.8%減)

営業利益 **△163**百万円
(前年同期は 120百万円)



営業面では、国内外の展示会への出展や海外子会社のプライベートショー実施により、コロナ禍以降、高まりを見せる省人化・自動化ニーズに応える当社製品群・システムの積極的なPRを行うなど、得意とする省人化、自動化技術を活かしたソリューション営業を進めてきました。

また、主力受注先である国内自動車業界の需要回復が遅れていることから、新たな市場開拓に注力し、営業キャラバン、顧客との技術交流会など、様々な施策を実施してきました。

地域別の売上高は、国内向けが増加したものの、北米向けおよびアジア向けが大幅に減少した結果、内需が45億33百万円(前年同期比13.3%増)、外需が17億3百万円(同36.6%減)、外需比率が

27.3%(前年同期は40.2%)となりました。

生産面では、先行発注などの最適生産に取り組んだほか、能力拡大に向けた機動的な人員配置、社員の育成・採用強化に努めました。

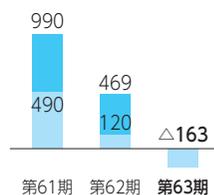
売上高

■ 第2四半期 ■ 通期



営業利益 (単位: 百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



IT関連製造装置事業

売上高 **627**百万円
(前年同期比 2.0%減)

営業利益 **22**百万円
(前年同期比 37.3%減)

半導体需要の調整が継続している中、新規案件の開拓や計画的生産に努めてきた結果、売上高は堅調に推移しました。

利益面では、価格転嫁やコストダウンの成果が上がった一方、製品構成比等の影響により、営業利益が減少しました。

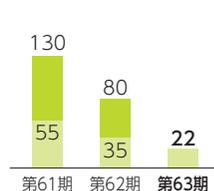
売上高

■ 第2四半期 ■ 通期



営業利益 (単位: 百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



自動車部品加工事業

売上高 **148**百万円
(前年同期比 3.8%増)

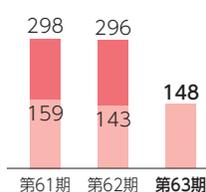
営業利益 **△12**百万円
(前年同期は △16百万円)

取引先である自動車メーカーの生産調整が継続しているものの、部品不足の影響が大きかった前年同期と比較して、需要回復の動きが見られました。

このような状況下、受注数量の変動に対応した柔軟な生産や、不良低減活動に努めた結果、売上高が増加し、営業損失が縮小しました。

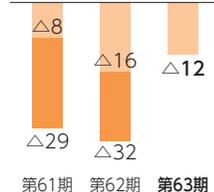
売上高

■ 第2四半期 ■ 通期



営業利益 (単位: 百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期

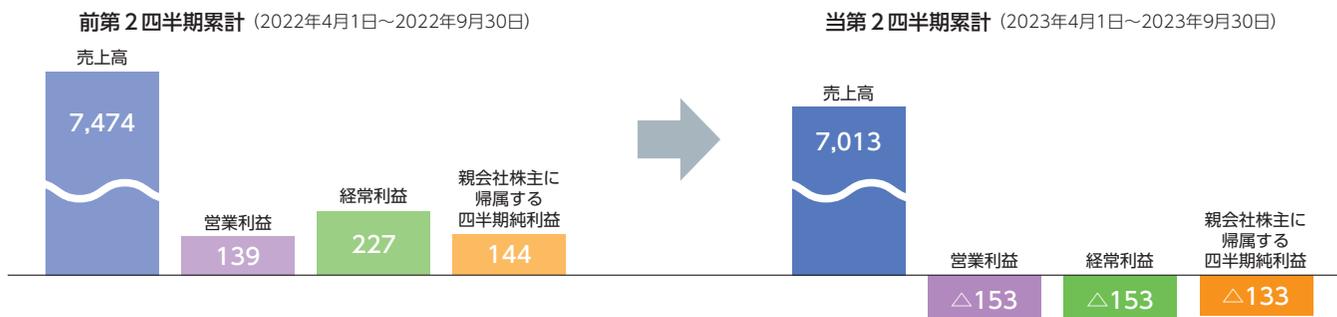


第2四半期連結財務諸表

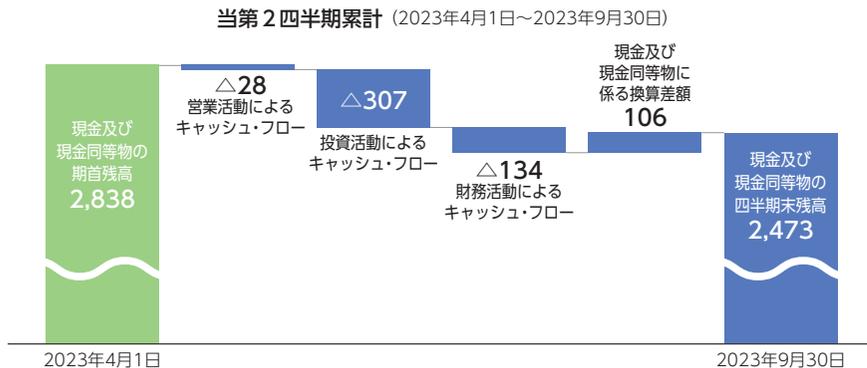
四半期連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



四半期連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)

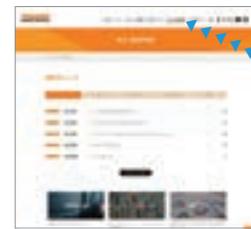


四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



財務情報のご案内

詳細な財務情報は、当社IRサイトより
ご覧いただけます。



IR・投資家
向け情報
Click!



<https://www.takamaz.co.jp/ir/>

太陽光発電設備の稼働開始

CO₂削減への取り組みの一環として、本社工場において、太陽光発電設備を導入し、8月に稼働を開始しました。北陸電力グループにとって北陸初となるカーポート型PPAモデル^(※)を採用しています。カーポート型以外に屋根の一部にも設置しています。

また、設置に伴い、「発電量計測モニター」を備え付けることで、社員やお客様が太陽光発電システムの発電状況とCO₂削減量を確認できる仕組みとしています。本設備の稼働により、2021年度比較で、本社工場のCO₂排出量は14% (約390t-CO₂)削減できる見込みです。

太陽光発電設備は、本社工場だけでなくあさひ工場にも設置を行う予定であり、より一層の再生可能エネルギーの利用拡大に取り組んでいきます。

(※)PPAモデルとは、電力会社が設備を設置し、発電した電力を当社が買い取る仕組みです。



本社正面ロビーに設置した発電量計測モニター

個人投資家様向け会社説明会

8月に東京、9月に金沢にて、個人投資家様向け会社説明会を行いました。当社社長から、会社概要や強み、今後の成長戦略、株主還元等について説明したのち、質疑応答にて多数のご質問にお答えし、当社への理解を深めていただきました。

今後も定期的なこのような機会を設け、投資家様との関係構築に努めていく予定です。



株主様向けあさひ工場見学会

10月12日、24日の2日間、株主様向けあさひ工場見学会を開催しました。

当日は、当社の概要や成長戦略について説明したのち、当社のフラッグシップ・ファクトリーであるあさひ工場の設備を株主の皆様にご覧いただきました。



工場見学のあとは、当社社長と直接お話ししていただく時間を設け、株主様からは、サステナビリティの取り組みや業界の今後について等の様々なご質問をいただき、社長がお答えしました。

今後も当社への理解を深めていただけるようなIR活動に努めていきます。

TAKAMAZの工作機械事業についてご紹介!

TAKAMAZのメイン事業は工作機械事業!

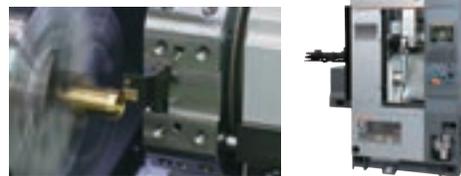


売上の
約90%が工作機械事業

工作機械本体や周辺装置の製造・販売およびサービス・メンテナンスを一貫して行っています。

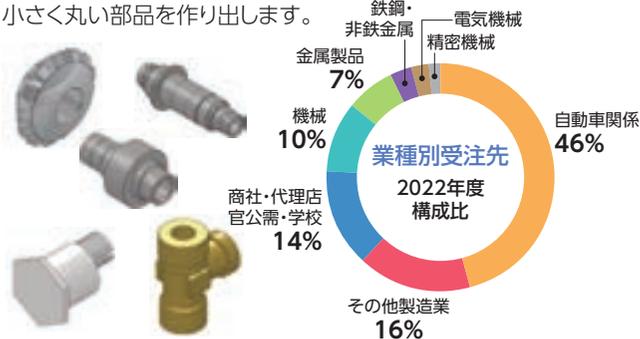
工作機械とは・・・

工作機械とは主に金属の塊に穴をあけたり、削ったりして部品を作る機械のこと。



TAKAMAZの機械が生み出すものは?

当社の機械は高品質が要求される、小さく丸い部品を作り出します。



EVやハイブリッド車を含めた自動車の部品等の加工や、シャワーなどに使われる水栓金具関係、エレベーターのドアに使われる建築資材関係といった多岐に渡る業種にて使用されています。



TAKAMAZの強みってなに?

1 お客様仕様の生産ラインを実現

生産の自動化を実現できる様々な周辺装置を、お客様のご要望に合わせて自由自在にカスタマイズし、細かいニーズに対応します。



2 高い製品開発力

小型ながらも高精度・高品質を維持するとともに、生産性の向上を実現できる多様なメリットをもたらす製品を開発します。

3 省エネ・省スペース製品

当社は長年、省エネ・省スペース製品の開発に取り組んでおり、環境に優しくサステナビリティに貢献できる製品を提供しています。

当社の概要や強みなど、より詳細な情報をホームページに掲載しております。

おすすめはこちら!

コラム
5分で分かる!
高松機械工業



高松機械って
どんな会社?



XWT-8

高い生産性をベースに、
DXとサステナビリティを追求

Point 1 作業性向上

大型タッチパネルを採用し、視認性の向上と直感的で快適な操作を実現。DX技術による操作の自動化や作業簡易化で作業性向上を支援します。

Point 2 生産性向上

機械内の加工物の移動にかかる速度を従来機から10%高速化し、お客様の生産性向上に寄与します。

Point 3 サステナビリティへの貢献

機械本体の冷却システムを水による冷却から空気による冷却に変更したこと(*)や、新型ローダを採用したことにより、エネルギー使用量を低減させ、サステナビリティに貢献します。



※【工場環境特性を利用した冷却システム】のご紹介(特許出願済)

機械の冷却システムに、環境温度と比較して温度変化が小さい、地表に近い空気層の空気を利用しました。これにより、加工物の寸法精度が安定するとともに、従来の水冷と比較し消費電力を削減でき、サステナビリティの実現に寄与します。



メカトロテックジャパンに出展しました!

10月18日~21日の4日間、ポートメッセなごやにてメカトロテックジャパン2023が開催され、当社の新製品「XWT-8」を初出展しました。ご来場いただいたお客様からは大きな注目が集まり、熱心にご質問をいただきました。

また展示会では、当該製品のほかにも、カーボンニュートラルに貢献する「XWG-3」や業界最小のコンパクト性を誇る「XTS-6」、そして稼ぐロボット自動化システム「ServoROT」の展示等、お客様の生産性を向上させる製品群をご紹介します、目標を上回る受注をいただきました。

今後も、当社製品の魅力を積極的にPRしていきます。



第62期株主通信にてご案内しましたアンケートにおきましては、
たくさんのご回答をいただき誠にありがとうございました。

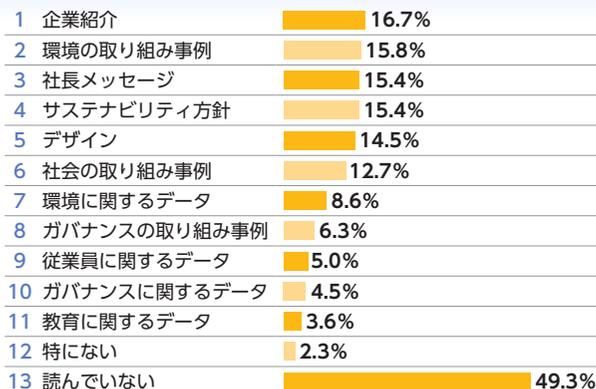
皆様にご提供いただいた質問の中から、当社のサステナビリティレポートに関する質問のご回答を
ご報告させていただきます。

株主数
3,047名
アンケート回答数
221名
アンケート返信率
7.3%

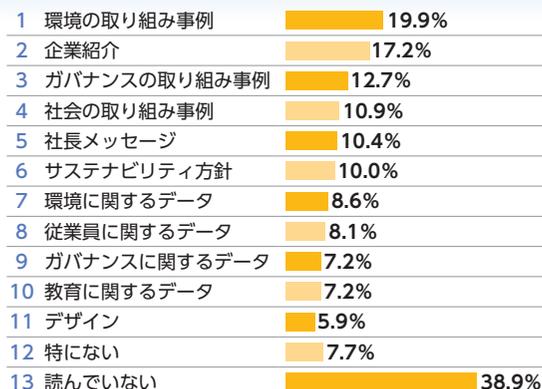
Q. 昨年度よりサステナビリティレポートをHPに掲載して
いますが、読まれましたか？



Q. 特に良かったところは何でしょうか？(複数回答可)



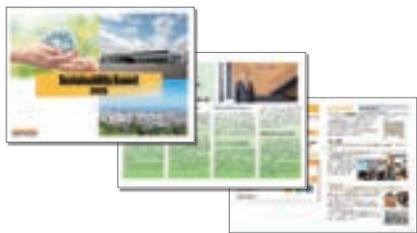
Q. 今後、更に情報の充実を希望する
トピックスは何でしょうか？(複数回答可)



Q. 何かご意見等ございましたらご記入ください。

- 四季報や情報誌には載らない内容なので、非常に有益だと思えます。
- 綺麗なレイアウトで、読みやすく、内容が頭に入ってきやすかった。
- もう少し具体的な取り組み事例の充実を望みます。
- 今後の展望をもう少し詳しく書いてほしい。

サステナビリティレポートのご案内



当社ホームページにサステナビリティレポートを掲載しています。
持続可能な社会の実現に向けた当社の取り組み、
数値データを詳しくご紹介していますのでぜひご覧ください！

<https://www.takamaz.co.jp/sustainability/note/>



会社概要

商号	高松機械工業株式会社
英文商号	TAKAMATSU MACHINERY CO., LTD.
設立	1961年7月
資本金	18億3,539万円
本社	石川県白山市旭丘1丁目8番地
従業員数	519名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● CNC旋盤等の製造、販売およびサービス・メンテナンス ● 部品、コレットチャック等の製造、販売 ● IT関連製造装置の製造 ● 自動車部品の加工
ホームページアドレス	https://www.takamaz.co.jp

役員

代表取締役会長	高松喜与志
代表取締役社長	高松宗一郎
専務取締役	徳野 穂
常務取締役	磯部 稔
常務取締役	四十万 尚
取締役(社外)	中西 祐一
取締役(社外)	池元 ことみ
取締役(社外)	高田 英美
常勤監査役	村田 俊哉
監査役(社外)	高井 和男
監査役(社外)	寺井 尚孝

執行役員

上席執行役員	唐木 英幹
上席執行役員	梅田 勝
執行役員	古屋 孝
執行役員	山野 真

ネットワークとサービス体制



株式の状況

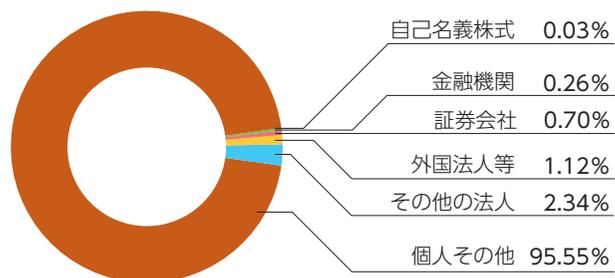
発行可能株式総数	30,000,000 株
発行済株式総数	11,020,000 株
1単元の株式数	100 株
株主数	3,126 名

大株主

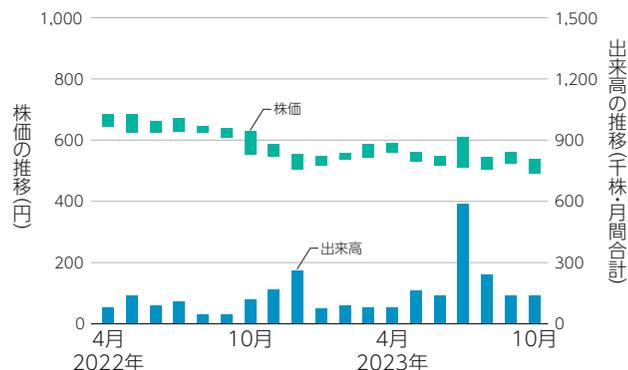
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
高松機械工業取引先持株会	1,094	10.08
株式会社タカマツ	810	7.47
北国総合リース株式会社	433	3.99
株式会社北国銀行	408	3.76
日本生命保険相互会社	384	3.54
株式会社朝日電機製作所	361	3.33
明治安田生命保険相互会社	360	3.32
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	343	3.16
高松機械工業社員持株会	330	3.05
高松明毅	330	3.05

(注)持株比率は自己株式(169,379株)を控除して計算しております。

所有者別株主数比率



株価・出来高の推移



配当方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付け、安定的な配当水準を維持していく方針です。

また、将来の利益の成長および企業価値の向上に資する事業投資に充当するため、必要な内部留保を行ってまいります。当社の剰余金の配当は、中間配当および期末配当の年2回を基本的な方針としています。

1株当たり配当額



※第60期においては、親会社株主に帰属する当期純利益がマイナスのため、第63期においては、親会社株主に帰属する当期純利益がマイナス予想のため、配当性向を表示しておりません。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	(1) 定時株主総会 3月31日
	(2) 期末配当金 3月31日
	(3) 中間配当金 9月30日
	(4) その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告の方法	当社ホームページに掲載 https://www.takamaz.co.jp
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
お問い合わせ先	管理本部 企画経理部 TEL 076-274-1410(直通) FAX 076-274-1418

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ホームページのご案内

ホームページでは、様々な企業情報や展示会・イベント情報、IR情報をお届けしています。どうぞお気軽にアクセス、ご利用ください！



当社ウェブサイト「トップページ」

<https://www.takamaz.co.jp>



「サステナビリティページ」



表紙のご紹介



表紙の作品は、KOTOさん作「冬」という作品です。

KOTOさんは当社の本社所在地である石川県出身のパラリンアートアーティストです。

細部まで丁寧に描かれた、冬を美しく表現する作品となっています。